科目名： 臨床実習（後期）　　**授業形態：** 実習　　担当教員：植村健一・池田真一・満吉幸一・橋口信洋・園屋和之

通年　18単位

【授業概要】

臨床実習施設に入院あるいは外来通院されている症例への臨床実習指導者の臨床介入場面に参加する

【到達目標】

臨床実習を通じて作業療法士の役割と基本的態度、チームアプローチの実際を学ぶ
対象者の改善課題整理と目標設定、必要なプログラム立案ができるように評価能力を身につける
プログラム実施を通じて治療・指導・援助ができる技能を身につける、プログラムの効果を判定する能力を身につける

【授業の進め方】

授　業　内　容
オリエンテーション 事前学習 情報収集 評価計画立案 評価実施（見学・模倣・実施） 問題点の抽出 問題点相互関係の整理・分析・焦点化 目標設定 治療計画立案 治療の実施 再評価 症例報告 実習の振り返り 実技練習（OSCE　客観的臨床能力試験：仮想事例を利用した問題点・目標・治療計画立案）

【授業外学修】　予習：実習に臨む前に、該当する教科書・資料等を確認し、必要な実技の練習を行う。（約1時間）
復習：実習内容を整理し、振り返りを行うこと。（約1時間）

【教科書名】

【参考図書】

【評価基準】　長期実習（前期：80点　後期：80点）平均点　＋　客観的臨床能力試験　計100点

【実務経験】　作業療法士、病院における臨床5年以上、週1回学外臨床参加